

令和5年10月30日

神奈川県知事 黒岩 祐治 殿

神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進審議会

会長 佐々 徹



神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画 評価報告書及び
神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画の見直し（案）について

このことについて、令和5年度第1回神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進審議会において審議を行い、別添のとおり意見をとりまとめましたので、提出いたします。

神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画 評価報告書及び 神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画の見直し（案）について

当審議会は、令和5年度第1回中小企業・小規模企業活性化推進審議会の審議事項「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画 評価報告書」及び「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進計画の見直し（案）」について、令和7年度の計画改定を見据えて次のとおり意見を述べます。

1 計画全体について

- 新型コロナウイルス感染症の拡大前後で、社会経済状況は大きく変化しています。その結果、状況が悪くなっているか、逆に良くなっている部分があるか、単純に KPI の数値だけで進捗を捉えるだけでなく、数値の背景も考察し、次期計画改定に活かしていただくようお願いします。
- 同じ中小企業でも、その規模は大小様々であり、経営状況も大きく違ってきます。よりきめ細かな施策展開のために、中小企業の中でも、特に小規模な事業者の状況を分析するといった対応も重要です。
- 県内のそれぞれの地域でどのような課題があり、どのような対応をしているかを踏まえた上で、県の施策を検討していくことで、よりきめ細かな施策展開ができるようになると考えられます。市町村等との連携について改めて検討することも重要です。

2 社会情勢の変化について

- 昨今の物価高騰の中、価格転嫁がどれくらいできているか把握し、うまく価格転嫁できていない中小企業をどのように支援していくのか検討していただきますようお願いします。
- また、物価高騰の中では、賃金の引上げが重要です。中小企業が、賃金の引上げを、経営にとって負担であるにとらえるのではなく、成長と分配の好循環に向けて前向きにとらえられるような仕組づくりをお願いします。
- 2050年のカーボンニュートラル実現に向けた社会の動きは、中小企業の成長につながる好機でもあります。まだ具体的な取組のできていない中小企業に対して、相談体制の整備や専門家の派遣などにより支援をしていただくとともに、そういった支援策を一元化して情報提供していただくことをお願いします。

3 数値目標について

- 「開業率」「黒字企業の割合」について、様々な視点で指標を捉えるためには、公表統計だけでなく、県独自の調査やアンケートを活用するほか、年単位ではなく、一定期間の平均値を観察するといった手法も検討することが重要です。

4 重点的な取組（大柱）と取組の基本方向（中柱）について

- 以下の点について特記しておきますので、現時点で見直しは必要ないと考えますが、計画改定時の参考としてください。

（1）大柱3

- 中柱1のKPI「（公財）神奈川産業振興センター等が開催する受発注商談会などにおける商談件数」の実績・自己評価に関して、商談件数だけでなく、受注に繋がった件数を分析することで、今後の施策展開の参考になると考えられます。

（2）大柱4

- 「円滑な事業承継の促進」の実績・自己評価に関して、事業承継のマッチングをした結果、実際に事業承継に繋がった件数を分析することで、今後の施策展開の参考になると考えられます。

（3）大柱5

- 中柱2のKPI「県内外から人を引きつけるために魅力を高める取組を行う商店街団体の数」の実績・自己評価に関して、当該KPIが、これまで目標を達成できているため、目標の上方修正をしたことは評価します。その結果、達成率が下がるかもしれませんが、目標達成に向けて前向きに取り組めるようになるという効果が期待できます。

（4）大柱6

- 今後、シニアの再就職や副業といった様々な働き方が重要となります。中小企業では対応が難しい場合があるため、行政からの支援があると、取り組みやすくなります。